

酷暑の夏が終わり秋、そして水澄む

真光寺川を清流にする会 山口拓郎

今年は記録的な猛暑の夏であった。八月、連日真夏日・熱帯夜が続いた。九月に入っても暑さは一向に衰えなかった。真光寺川の流れも例年になく濁った日々が続いた。真光寺川の汚染に心を痛めている者は我々だけではなかった。真光寺・広袴の町内会、川沿いの住民の懸念、行政の意向に添い何回か会合が持たれた。その甲斐あってか八月頃から少しずつきれいな水がよみがえってきた。泡も次第に見かけなくなってきた。十月に入り水が澄んできた。朝、下堰親水を訪れると鯉が悠々と遊泳している。透明な水をとおして背びれ・尾びれそしてウロコの幾何学模様がくっきりと浮かびあがって見えるようになってきた。

{8月}

○観察概況

記録的な酷暑であった。早朝でも気温は連日28～29度を記録した。流れは時として黒ずむことがあったがその頻度は少しずつ減ってきた。透視度も改善されてきた。しかし毎日のように川面一面に泡が広がっていた。魚は暑さを好むようだ。小魚が川面に跳ね上がる姿が多くみられた。

6日(金) 里親通信発行・一木会

酷暑、支所で印刷。山本、黒田、桜井、野田さん。夕方、魚民で一木会。山本、黒田、岩上、桜井、生江、野田さん。水質改善の手段について議論が沸騰する。

8日(日) 清掃作業

晴、日射し強烈。以前鶴四小で川の体験活動で活躍された平野先生も久しぶりに参加。魚群多く見え気持ちがいい。終わって「いちよう会館」で反省会。平野先生、鶴見川での小学生の水難事故について、学校が子供達の川遊びについて消極的になるのではないかと懸念されていた。

11日(水) 鶴三小・小泉先生から連絡

今年もごみフェスタに参加する準備をすすめている由、打ち合せに伺うことを約する。

13日(金) 麻生総合高から連絡

今年も10月21日に体験学習を実施したい旨、連絡があった。

19日(木) 水サンプル採集

5時、夜明けを待ってスタート。広袴公園で岡野さんに合う。我々の活動に協力的な方だ。広袴公園の水質改善につき市長へメールを出したところ、回答があったと由、

環境に関心を持つ方が増えることは心強い。

30日(月) 南東建との打合せ

10時、山本、黒田、岩上さんと伺う。南東建には色々協力してもらっている。4月に大幅な人事異動があったため挨拶を兼ねてこれまでの申合せ事項を確認するためである。スムーズに進み一層の協力が得られることになった。

{9月}

○観察概況

厳しい残暑が続いた。二度ばかりゲリラ豪雨が下堰親水の階段下まで増水した。河川敷に大量の砂が集積した。月の後半から水がきれいになってきた。青黒く濁ることはなくなってきた。泡もあまりみかけなくなってきた。散歩する方々も喜んでた。

1日(水) 新学期

6時30分、下堰親水でいつもの観察、和光高校生3名来る。新しい学期が始まるので川沿いに歩いて行くとのこと。

8日(水) 里親通信発行・一木会

小雨、支所で印刷・配達。山本、黒田、野田さん。夕方、魚民で一木会。山本、黒田、岩上、桜井さん。外来植物の繁茂の状況につき議論する。

9日(木) 下堰親水にモズクガニ

6時20分、いつもの通り下堰親水で観察。階段下に甲羅15cmばかりのモズクガニを発見。一瞬、幻影かと思った。そしていずこへともなくゆらりと消えた。

12日(日) 清掃作業

晴、真夏日。11名参加。気温が高いせい

だろうか、いつもより多くの魚群が目につく。いちよう会館で反省会。

16日(木) 水サンプル採集中止

台風襲来。前夜より雨激しい。松前さんと電話で連絡し、延期することになる。

24日(金) 水サンプル採集、再度中止

前日から雨が激しく降った。水サンプル採集は前週台風のため中止となりこの日を予定していた。かなり増水している。松前さんと連絡し残念ながら中止となる。

28日(火) 麻生総合高校・浅見先生来訪

10月21日の体験学習のスケジュールを返してください。25名になるようだ。

29日(水) 鶴三小へ「ちらし」を

ごみフェスタがいよいよ近くなってきた。PRちらしと参加者用リボンを届ける。ブースの場所も説明する。

{10月}

○観察概況

木犀が咲き、そして散っていった。秋らしい季節の訪れだ。水がきれいになってきた。川底のヘドロが消え、砂の粒子が見えるようになってきた。気になっていた泡も少なくなってきた。

3日(日) ごみフェスタ2010

天候が懸念されたが、快晴となる。



中村、山岡さんと待ち合わせ、山本さんの車で会場へ。おふたりにはブースで「やさしい工作」をお願いする。9時30分のバスで鶴三小の子供達到着する。学校に集まり、電車、バスを乗り継いできたそうだ。4年生36名、校長、担任の先生。開会式から参加してもらった。にぎやかなお喋りの後いよいよ発表。4名単位でチームを組み用意した模造紙を高々と掲げて元気よく発表。観客から暖かい拍手が寄せられた。発表を終え、晴々とした表情で会場の展示やフリーマーケットを楽しんでいた。

6日(水) 里親通信発行・一木会

支所で14時から印刷。山本、黒田、野田吉田さん。鶴三小に配達の際、ごみフェスタの写真を届け子供達の感想文を依頼する。夕方、魚民で一木会。山本、黒田、岩上、生江、桜井、吉田、久山さん。麻生総合高の体験学習の準備等。

7日(木) ごみ減量課から問合せ

ごみフェスタの鶴三小を開いた市民から発表にいたった経緯につき問合せがあったとのこと。交流の経緯を説明する。

10日(日) 清掃作業中止

前日から激しい雨。6時30分、下堰親水に観察へ。増水して川の中の作業は困難なので山本さんと相談し、中止を決定する。

21日(木) 麻生総合高校・体験学習

懸念していたが朝から雨。山本、山岡、生江さんと広袴公園で待つ。

9時30分、浅見先生の引率で26名が到着する。展望台の上で傘をさしたまま、山岡さんに魚の話。池を一周して下堰親水に向かう。雨足は一向に衰えない。川での清掃作業は断念していちよう会館へ。

八畳の和室一間しか予約できなかった。狭い部屋に押しくらまんじゅうのように坐ってもらう。清流の会の活動と山本さんの鳥の話。質疑応答、核心をつく質問が続く。感想文を頂いてわかったことだが事前にホームページで会の活動を調べたようだ。昼食後、恩廻公園を指して出発して行った。

28日(木) 水サンプル採集

小雨。夜が白むのを待って6時に家を出る。開戸親水でかがるがもの一家が群れていた。ただ橋の下手に自転車が入り込んであった。広袴公園、透視度は悪い。いつもより時間が掛って帰宅。(この項おわり)